

(For School teacher)

Form 5

平成 23 年 3 月 1 日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 山梨県立都留高等学校

2. 参加研究者: Dr. Kamlesh Shrivastava

3. 実施日時: 平成 23 年 1 月 28 日 (金) 13:06 ~ 15:53

4. 参加生徒: 2 年生 28 人、 1 年生 1 人、 3 年生 1 人 (合計 30 人)
備考: SSH クラス

5. 講演題目: (英文) 『nanotechnology and Applications』

(和文) _____

6. 講演概要: 今年度 2 度目のフェローの講義ということもあり、生徒達は前回よりもリラックスして受講することができました。ナノテクノロジーは様々な分野に応用されていて、医学の分野では病理診断や MRI などの医療機器にも数多く利用されている説明を受けました。またノーベル賞受賞者の田中耕一さんの研究である質量について浜松医科大学と島津製作所が協力して行っているプロジェクトなどを知り、生徒も多いに刺激を受けたようでした。

7. 使用言語: 英語

8. 講演形式:

(1) 講演時間 100 分 質疑応答時間 _____ 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など)
プロジェクター使用

(3) 通訳 (例: 受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

協力者 職・氏名

教諭 芦沢 友也

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

原子力の資料、英単語テスト、

9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金

10. その他特筆すべき事項